

排泄介護拒否課題 介護チェック表

現在、実施しているケアを確認しましょう。

記入者氏名

記入日

高齢者氏名

◆身体機能
(自立・やや機能低下)

◆認知症重症度(日常生活自立度判定基準)
(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ)

状況

〇〇さんは、おむつにおしっこをしたまま何時間も経っているので、交換しようとする と、抵抗し、交換ができません。

要注意!!

こんなケアしてませんか？

☐ 介護者の交換時間を優先し、尿(便)臭がしても放っておいていませんか？

☐ 強制的に声かけしたり、しかったり、どなったりしてませんか？

☐ 周囲に聞こえるような声で声かけしていませんか？

☐ 無理矢理、別室へ連れて行ったりしていませんか？

☐ 交換時、「くさい」「汚い」などと尊厳を無視した職員同士の会話をしていますか？

☐ 排泄後長時間の放置は、感染症や皮膚疾患の原因になりますので、充分注意しましょう。

☐ 本人の尊厳を保つ為、周囲に聞こえるような声での誘導は控えましょう。

☐ 認知症の人は、感情は最後まで豊かに残っています。どうせ聞こえないから…との思い込みはせず、一人の人間として尊重した態度・言動を忘れてはいけません。

ケア方針

◎本人の排泄タイミングを計りながら、尊厳を損なわずに排泄介助を行いましょう。

◎本人にとって安楽、かつ速やかで衛生的な排泄介助を行いましょう。

	確認部位	アセスメントチェック ここを確認しましたか？	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
認知機能	●認知機能 ○本人の気持ち、意志 ○性格	☐ 長文も理解できることが多い。 ☐ 短文なら理解できることが多い。 ☐ 難しい言葉はわからないが、身近な言葉は理解できる。 ☐ そのときによって通じるときとそうでないときがある。 ☐ 排尿(排泄)されたことを認識されていない。 ☐ 交換中に興奮や不快感を表出される。	◇認知症の人の認知機能は「時間」や「場所」「認知症の進行度合い」など、その時々により違います。介護者の思い込みにより、一つの方法のケアを誰にでも当てはめるのではなく、本人の認知機能を確認し、能力にあった対応を心がけましょう。	本人に了解を得て、交換に応じていた だいた。 ☐ p.150-0-2 短い言葉でわかりやすく、交換の声か けをしてみた。 ☐ p.154-0-1 本人の尊厳が保てる範囲で別の出来 事の声かけを行った。「お洋服を取り換 えませんか?」等 (トイレ(排泄)という 言葉が理解できない場合には、やむを 得ず、尊厳が保てる範囲で別の言葉に よりトイレまで誘導することで不快感情 を与えずに誘導できることもあります。 (※決して最善策ではなく、あくまで次 善の策とすべきでしょう。) 表情や仕草で快・不快感情のどちらを 持っているか確認した。 ☐ p.152-0-8 排泄時間をデータ化して本人のタイミ ングに合わせて誘導する。 ☐ p.154-0-2 交換後の処理をすばやく行う。 (交換中に記憶が途切れてしまうこと で、現在の姿に羞恥心などを感じる場 合があります。) ☐ p.151-0-3 本人自らがスポンを下ろす動きを見守 り、過度の介助を行わない。(自分のこ とは自分で行うほうが、自己の満足感 を高められることがあります。) ☐ p.151-0-4
	認知機能			

認知機能	確認部位	アセスメントチェック ここを確認しましたか？	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
	見当識 ●見当識 ○認知機能 ○認知症の種類 ○尿意・排泄感覚 ○施設環境	☐ トイレの場所がわから ない。	◇おむつ・パットへの排泄を、しようがないも のと最初から捉えるのではなく、建物の 構造や、トイレの場所にも原因がある可 能性があることに留意しましょう。	トイレの場所が分かりやすいように目 印をつける。 ☐ p.153-0-1 排泄時間をデータ化して本人のタイミ ングに合わせて誘導する。(トイレの場 所がわからず、パットへ排泄しているこ ともあります。) ☐ p.154-0-2
心理	心理 ●気分 ○本人の気持ち、意志 ○スタッフの 声かけ内容・ 見守り方 ○スタッフとの 関係 ○性格	☐ 本人は今、快感情を 持っていない。 ☐ 交換の途中で不機嫌 になる。	◇感情の変化を洞察し、感情の安定をはか るように心がけて接しましょう。	落ち着いた優しい言葉遣いで、本人の 得意な話題などをし、本人が快感情を 持てるように働きかけ、タイミングを見 計らって交換した。 ☐ p.152-0-8 p.155-0-6 p.156-0-8 拒否時は一旦気分を変えた。 ☐ p.155-0-4 あらかじめ交換に必要な準備をしてお き、交換を手際よく行うことで、交換時 に起こりうる羞恥心やイライラ感を感じ させないようにした。 ☐ p.151-0-3
排泄状況	排泄環境	☐ 室温は低くないか。	◇排泄前の特有の行動や、室温等への配 慮、これまでの生活に近いトイレ環境調 整などについて、本人の目線で考え、調 整することを心がけましょう。	室温を高くし、交換時の冷えによる拒 否を防止した。 ☐ p.151-0-5
	排泄パターン ●排泄間隔 ○本人の気持ち、意志 ○排泄・排尿時間 ○尿意・排泄感覚	☐ 排泄前・後に特有の行 動があるか。 ☐ 排泄時間は一定か。 ☐ 交換時の物品は安楽 なものを使用してい るか。		もぞもぞした様子が見えたら交換を勧 めてみた。 ☐ p.154-0-2 p.157-0-2 キョロキョロと辺りを見回しているとき に交換を勧めてみた。 ☐ p.154-0-2 p.157-0-2 起床後、本人がゆったりしているときに 誘ってみた。 ☐ p.154-0-2 食事の前にトイレへの声がけをした。 (排泄感覚が皆無の場合は、データ化 したタイミングでの交換・誘導が必要で すが、その日によりタイミングが全然定 まらないことが判明した場合は、食事を 気持ちよく摂って頂くために、食事前に 誘導することも考えます。) ☐ p.154-0-2 清拭布や陰部洗浄用の湯を適温にし、 心地よさを感じて頂いた。 ☐ p.151-0-5
対応方法	場所 ●交換場所 ○本人の気持ち、意志 ○気分 ○交換場所 ○交換の時間帯 ○尿意・排泄感覚 ○スタッフの 声かけ内容・ 見守り方	☐ 大きさに声がけし、感 情を損ねていないか。 ☐ 介護者の都合を押し 付けていないか。 ☐ 生活の流れの中で自 然に対応しているか。	◇羞恥心や尊厳の保持を念頭に置き、交 換場所を決めましょう。	居室に戻られた時にさりげなく声がけ した。 ☐ p.150-0-1 p.156-0-7 拒否されたときは、時間を置き声がけ した。 ☐ p.155-0-4 無理強いせず「行きたくなったら教えて ね」といったん引き下がり観察した。 ☐ p.155-0-4 着替えの流れで行った。 ☐ p.150-0-1 p.156-0-7
	介護性別 ●介護者の性別 ○気分 ○スタッフの 声かけ内容・ 見守り方 ○便の状態 ○性格 ○認知症の種類 ○スタッフとの 関係	☐ 介護者の性別により、 本人の様子が違う。	◇できるだけ本人の希望に沿うようにしつ つ、性差で違うからとあきらめるのではな く、対応の上手な方をよく観察して、真似 てみましょう。(本人の応援者は一人でも 多い方がいいです。)	余裕があるときは、親しみやすい性別 の職員中心に関わり、その関わり方の 様子を観察し、よいところを真似るよう にした。 ☐ p.157-0-1 (男女の性差により反応が違うこともあ りますが、基本は個人の関わり方に原 因があることが多いものです。性差で の違いとあきらめるのではなく、関わり が上手な人の様子を観察し、真似るこ とが解決のヒントとなります。)

対応方法	確認部位	アセスメントチェック ここを確認しましたか？	ケアの方向性	実際の取り組み例（ガイドライン参照項目）
	声かけ ●スタッフの 声かけ内容・ 見守り方 ○スタッフとの 関係 ○性格	☐ うまく対応できる時 と、できない時があ る。 ☐ 声がけ時、周囲に人 はいますか。 ☐ 本人の理解力は把握 したうえで声がけで 来ていますか。 ☐ 本人への声がけのタイ ミングをはかってい ますか。 ☐ 声がけの方法は一定 ですか	◇本人の気持ちはその日その時間によっ て違います。うまくいかなかったときは、 そのときの対応に原因がある場合と、そ の前までの対応に原因があることもあり ます。生活全体の流れを踏まえた声がけ が必要です。 ◇声がけ内容は尊厳に配慮されたものと なっていますか。また、そのタイミングは 適切でしょうか。日々振り返ることが必要 です。	その人に応じた声かけを行った。（ハキ ハキと声がけしたほうがいい場合、ゆっ くり話したほうがいい場合、言葉のイン トネーションなどを本人が聞きやすいよ うに介護者が調整します。）☐ p.156-0-8 P.157-0-1 本人の言葉（方言や言い方）を真似た。☐ p.157-0-2 本人にのみ聞こえるような大きさで声 がけした。☐ p.155-0-3 職員が、「トイレに行くのでついて来て くれませんか」とお願いした。（推薦で きる声がけではありませんが、本人を目 上の存在としてお願いすることで、応 じて下さることもあります。この類の声 がけは本人の尊厳を損なう恐れがある ので、本人の排泄感覚がなく、言葉の 理解力低下が著明な場合などの、やむ を得ない策といえます。） 着替え（寝衣等）のタイミングに合わせ て声がけし、交換した。☐ p.156-0-7 統一した声がけと対応を行った。（対応 を統一することは大事ですが、それが 本当にベストの対応かどうかはよく話し 合う必要があります。そもそも統一した 対応自体が間違っていることはよく見 受けられます。）☐ p.156-0-8 p.157-0-2
職員との関係	関係 ●スタッフとの 関係 ○本人の気持ち、 意志 ○スタッフの 声かけ内容・ 見守り方	☐ すんなり交換できる 職員とそうでない職 員がいる。	◇同じ介護をしたつもりでも、本人に与え る印象は人により違います。相手に受け 入れられる態度、行動・言動はどういうも のか、関係作りが上手な職員を手本にし、 日頃からの積み重ねを意識しましょう。	交換が上手な職員の、交換の仕方を観 察して真似た。☐ p.157-0-1 p.157-0-2 交換が上手な職員は日ごろからどのよう にかかわっているか、観察して真似た。☐ p.157-0-1 p.157-0-2 声のトーン、声がけの仕方に注意した。☐ p.157-0-1 p.157-0-2

現在の状態は
どうですか

◎おむつ交換拒否の回数	◎ケアをしたときの表情	◎行動やしぐさの様子
拒否回数 <u> </u> 回／日	笑顔がみられる… ☐ 悲しそうである… ☐	そわそわしている… ☐
	穏やかである… ☐ 苦しそうである… ☐	寝ている… ☐
	落ち着いている… ☐ 怒っている… ☐	無関心である… ☐
	集中している… ☐ 泣いている… ☐	同じ動作の繰り返し… ☐

排泄誘導拒否課題 介護チェック表

記入者氏名

記入日

現在、実施しているケアを確認しましょう。

高齢者氏名

◆身体機能
(自立・やや機能低下)

◆認知症重症度(日常生活自立度判定基準)
(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ)

状況

〇〇さんは、失禁が多くなってきたのでトイレに行くよう促すと、嫌がって抵抗します。

要注意!!

こんなケアしてませんか？

☐ 本人任せにして放っておいていませんか？

☐ 強制的に声かけしたり、しかったり、どなったりしてませんか？

☐ 全員一律の時間で排泄助をしていませんか？

☐ 無理矢理、別室へ連れて行ったりしていませんか？

☐ 汚れた排泄用品をそのまま持ち運んだりしていませんか？

☐ 全員一律の排泄時間を設定してしまうと、皮膚疾患・泌尿器の疾患・本人の不快感につながるため注意しましょう。

☐ 拒否があるからといって、強制的な声掛けや無理矢理部屋へ連れて行ったりすることは直接の解決になりません。

☐ 汚れた排泄用品をそのまま運んだり、あからさまにバケツで運ぶ方法は入居者のプライバシーに配慮した運搬方法にはならないので注意しましょう。

ケア方針

◎自尊心・羞恥心・尊厳・プライバシーに配慮したケアを行いましょう。

◎自立支援を念頭に置いたケアを行いましょう。

◎本人の身体状況・排泄パターンを把握し個別にケアを行いましょう。

	確認部位	アセスメントチェック ここを確認しましたか？	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
疾病	病歴	☐ 過去に排泄に関連した疾患がある ☐ 疾患の状況・体調に合わせた声かけができていない ☐ スタッフとの信頼関係ができていない ☐ 現病・既往歴・薬の作用・副作用を知らない	◇ご本人がどのような疾患に罹患しているのかを把握し、その疾患がどのような症状を呈すのかを理解することが重要です。また、その時々のご本人の体調に合わせて声のトーンを変えたり、時間を多少前後させることも大切です。排泄行為は、人間の尊厳に関わる非常にプライベートな部分ですので、信頼関係を構築し、ご本人の精神的な負担を軽減させるよう努めましょう。	本人の体調に合わせて声をかける。 p.164-0-3 外出等、何らかの行動の直後に誘う。 p.162-0-1 排泄をしないことによる悪影響を分かりやすく説明する。 p.164-0-2 なじみの職員が対応する。 p.164-0-1
	排泄状況	☐ 失禁の頻度・量を知らない ☐ 排泄状況を知らない ☐ 失禁の有無を確認できていない ☐ 水分摂取の状態と尿量を把握していない ☐ 排便のリズム・便の状態を把握していない ☐ 尿意・排泄感覚を把握していない ☐ 本人の気持ち、意志を尊重していない	◇ご本人の排泄状況を把握することが大切です。入居者それぞれの生活習慣を理解し、どのタイミングで排尿、排便があるのかを観察しましょう。また、どの程度の水分を摂取しているか、どの程度の尿量があるかを確認することも大切です。排便についても、ご本人のタイミングを知り、それに合わせて声をかけるようにするなどの工夫も重要です。何よりもご本人の気持ちを尊重し、それにあったケアを心がけましょう。	24時間シートを作成し、排泄パターンに合った声かけを行う。 p.166-0-2 排泄時間を把握し、それに応じて支援する。 p.166-0-2 本人の失禁の量にあった排泄用具を選定する。 p.167-0-9 声かけに応じてくれた際に、「ありがとう」の言葉をかける。 p.165-0-6
排泄状況				

	確認部位	アセスメントチェック ここを確認しましたか？	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
排泄状況	尿意感覚	☐ 羞恥心等に配慮した声かけ ☐ 本人の気持ち、意志をくみとっていない ☐ 尿意、排泄感覚が乏しい ☐ 生活習慣に合わない声かけ、誘導をしている	◇周囲の人に気づかれないようにトイレに誘うなど、羞恥心に配慮した声かけを心がけましょう。また、ご本人の排泄パターンを把握し、生活習慣にあった声かけをするようにしましょう。	24時間シートを作成し、排泄パターンに合った声かけを行う。 p.166-0-2 周囲に気づかれないように声をかける。 p.163-0-6 会話をしながら、自然にトイレへの声かけを行う。 p.162-0-1 「トイレ」以外で本人が親しんだ呼称があれば使用する。 p.163-0-8 散歩中等の歩行時にトイレに誘う。 p.162-0-1 声かけに応じてくれた際に、「ありがとう」の言葉をかける。 p.165-0-6
	失禁	☐ 本人の気持ち、意志を組みとっていない ☐ 自尊心や羞恥心に配慮した声掛けになっていない ☐ 失禁の頻度・量を知らない ☐ 失禁の有無を確認できていない	◇失禁に対するご本人の気持ちを汲み取り、精神的な負担をかけないよう配慮しましょう。また、いつ、どのような状況で失禁が見られるかを把握するように心がけましょう。さらに、失禁の量にあった排泄用具を使用し、ご本人の負担を少なくするよう心がけましょう。	24時間シートを作成し、排泄パターンに合った声かけを行う。 p.166-0-2 本人の失禁の量にあった排泄用具を選定する。 p.167-0-9 会話をしながら、自然にトイレへの声かけを行う。 p.162-0-1 ほかの人に聞こえないように声をかける。 p.163-0-6 散歩中等の歩行時にトイレに誘う。 p.162-0-1 汚れによるただれやかゆみがないか確認する。 p.167-0-7 汚れたものは、極力本人の視界からはずし、介助する。 p.167-0-8
	時間間隔	☐ 介護側の誘導時間になっている ☐ 排泄・排尿時間が排泄パターンにあっていない ☐ 排泄間隔を把握していない ☐ 排泄頻度を把握していない	◇介護者側の都合でトイレ誘導したり、おむつ交換することは止めましょう。あくまでも介護者側はご本人の排泄状況に合わせて行動することを心がけましょう。	24時間シートを作成し、排泄パターンに合った声かけを行う。 p.166-0-2 排泄時間を把握し、それに応じて支援する。 p.166-0-2
	排泄パターン	☐ 自尊心や羞恥心に配慮した声かけになっていない ☐ 排泄間隔を把握していない ☐ 排泄頻度を把握していない ☐ 排泄・排尿時間を把握していない ☐ スタッフとの信頼関係ができていない ☐ 介護側の都合で誘導時間を決めている	◇ご本人の排泄状況を確認し、適切なタイミングと方法で介入しましょう。また、排泄ケアは非常にプライベートな部分ですので、十分に信頼関係を築いた上で介助にあたるようにしましょう。	24時間シートを作成し、排泄パターンに合った声かけを行う。 p.166-0-2 排泄時間を把握し、それに応じて支援する。 p.166-0-2 水分の摂取状況を観察し、適宜声をかける。 p.166-0-2 会話をしながら、自然にトイレへの声かけを行う。 p.162-0-1 「一緒に行きましょう」と誘う。 p.162-0-1 「トイレ」以外で本人が親しんだ呼称があれば使用する。 p.163-0-8 散歩中等の歩行時にトイレに誘う。 p.162-0-1 声かけに応じてくれた際に、「ありがとう」の言葉をかける。 p.165-0-6
様子	様子	☐ 拒否があったときの表情を観察していない ☐ 拒否があったときの様子を観察していない ☐ 強制的に声かけしたり叱ったりしている ☐ 排泄状況を把握していない ☐ 本人の気持ち、意志を尊重した声かけをしていない ☐ 性格を考慮した声かけをしていない	◇誘導への拒否があった場合は、そのときの様子(表情、口調、しぐさ、周囲の様子など)を細かく観察するようにしましょう。ご本人の様子から拒否につながる要因が見つかることも充分考えられます。また、拒否に対して強い口調でとがめたり、無理やり誘導するようなことは絶対にしてはいけません。さらにご本人の性格やそのときの体調などを考慮し対応するように心がけましょう。	声かけに応じてくれた場面を考え、その要因を検討する。 p.166-0-3 会話をしながら、自然にトイレへの声かけを行う。 p.162-0-1 ほかの人に聞こえないように声をかける。 p.163-0-6 「トイレ」以外で本人が親しんだ呼称があれば使用する。 p.163-0-8 散歩中等の歩行時にトイレに誘う。 p.162-0-1 排泄をしないことによる悪影響を分かりやすく説明する。 p.164-0-2

	確認部位	アセスメントチェック ここを確認しましたか？	ケアの方向性	実際の取り組み例（ガイドライン参照項目）
心理	心理 ●本人の気持ち、意志 ○スタッフの声かけ内容・見守り方 ○性格 ○気分 ○スタッフとの関係	☐ 本人の気持ち、意志 ☐ スタッフの声かけ内容・見守り方 ☐ 性格を考慮した声かけをしていない ☐ 気分が悪い ☐ スタッフとの関係が良くない	◇どうして拒否するのか、拒否されているご本人の気持ちを考えましょう。そのうえで、スタッフの声の掛け方や見守り方が適切かどうか検討してみましょう。気分が優れない、体調が優れないなどの理由も考えられます。また、介護者側との関係が拒否の要因にもなります。ご本人と信頼関係を築けるよう心がけ、ご本人の心に寄り添ったケアを目指しましょう。	なじみの職員が対応する。 ☐ p.164-0-1 ----- 会話をしながら、自然にトイレへの声かけを行う。 ☐ p.162-0-1 ----- ほかの人に聞こえないように声をかける。 ☐ p.163-0-6 ----- 「トイレ」以外で本人が親しんだ呼称があれば使用する。 ☐ p.163-0-8 ----- 散歩中等の歩行時にトイレに誘う。 ☐ p.162-0-1 ----- 声かけに応じてくれた際に、「ありがとう」の言葉をかける。 ☐ p.165-0-6
	興味関心 ●興味・関心 ○気分 ○本人の気持ち、意志	☐ 興味・関心のあるものを知らない ☐ 本人の気持ち、意志を把握していない	◇ご本人が、どのようなケアを望むのか、また、どのような方法で自立に近づけられるかを検討し、その意志がご本人にあるのかどうかを十分に確認しましょう。	排泄時間を把握し、それに応じて支援する。 ☐ p.166-0-2 ----- 「トイレ」以外で本人が親しんだ呼称があれば使用する。 ☐ p.163-0-8 ----- 会話をしながら、自然にトイレへの声かけを行う。 ☐ p.162-0-1
人間関係	スタッフ関係 ●スタッフとの関係 ○スタッフの声かけ内容・見守り方 ○本人の気持ち、意志	☐ スタッフとの信頼関係ができていない ☐ スタッフの声かけ内容・見守り方がよくない ☐ 本人の気持ち、意志を確認していない	◇ケアを提供する際、拒否が見られる背景には、ご本人を取り巻く人間関係が影響している場合も少なくありません。特に、排泄ケアのような非常にプライベートな部分に介入する際は、介護者側との十分な信頼関係を築いておく必要があります。さらに、介護者の声の掛け方や見守り方も非常に大切です。	なじみの職員が対応する。 ☐ p.164-0-1 ----- 会話をしながら、自然にトイレへの声かけを行う。 ☐ p.162-0-1 ----- 「一緒に行きましょう」と誘う。 ☐ p.162-0-1 ----- ほかの人に聞こえないように声をかける。 ☐ p.163-0-6 ----- 「トイレ」以外で本人が親しんだ呼称があれば使用する。 ☐ p.163-0-8 ----- 散歩中等の歩行時にトイレに誘う。 ☐ p.162-0-1 ----- 声かけに応じてくれた際に、「ありがとう」の言葉をかける。 ☐ p.165-0-6
	人間関係 ●スタッフとの関係 ●他の入居者との関係 ○スタッフの声かけ内容・見守り方 ○性格	☐ スタッフとの信頼関係ができていない ☐ 他の入居者との関係がよくない ☐ スタッフの声かけ内容・見守り方がよくない ☐ 性格を考慮した関わりをしていない	◇スタッフとの信頼関係が築けていない場合には、介護者側からの声かけに対して拒否が見られる場合も少なくありません。また、他の入居者との関係に軋轢がある場合なども、拒否の要因となることが考えられます。ご本人の性格をよく見極め、その時々体調に応じた声かけを心がけましょう。	なじみの職員が対応する。 ☐ p.164-0-1 ----- 会話をしながら、自然にトイレへの声かけを行う。 ☐ p.162-0-1 ----- 声かけに応じてくれた際に、「ありがとう」の言葉をかける。 ☐ p.165-0-6 ----- ほかの人に聞こえないように声をかける。 ☐ p.163-0-6 ----- 「トイレ」以外で本人が親しんだ呼称があれば使用する。 ☐ p.163-0-8 ----- 散歩中等の歩行時にトイレに誘う。 ☐ p.162-0-1

現在の状態は
どうですか

◎誘導を拒否する回数	◎ケアをしたときの表情	◎行動やしぐさの様子
拒否回数 <u> </u> 回／日	笑顔がみられる… ☐ 悲しそうである… ☐	そわそわしている… ☐
	穏やかである… ☐ 苦しそうである… ☐	寝ている… ☐
	落ち着いている… ☐ 怒っている… ☐	無関心である… ☐
	集中している… ☐ 泣いている… ☐	同じ動作の繰り返し… ☐